

9月になっても猛暑が続く「いったいどうなってしまうのだろう? 10月も夏が続くのだろうか?」と思えるほどの毎日でしたが「暑さ寒さも彼岸まで」・・・彼岸に入る一日前になってようやく 朝夕が秋らしい気温になってきました。

冷房が無ければいてもたってもいられないほどの暑い毎日が やっと終わりを告げそうです。

しかし 次々と発生する台風・・・雨の被害も尋常ではない地域もあります。穏やかな涼しい日が続くことは あまり望めそうにもありません。気候が変われば生態系も変化していきます。今まで獲れなかった魚が豊漁になったり 人間を恐れて居住が住み分けられていた動物も 人家の傍に当たり前に出没したり 日本では生育しなかった動植物が発見されたり・・・UCN(国際自然保護連合)が発表している、世界の絶滅の恐れのある野生生物のリスト「レッドリスト」には、47,187種の野生生物が「絶滅の危機の高い種(絶滅危機種)」として掲載されています。そしてレッドリストは、野生生物を追いつめる大きな要因の一つに、「気候変動」つまり地球温暖化を挙げています。この気候変動による影響を受けていると考えられている絶滅危機種は、西暦 2000 年以降、急激に増加してきました。2000 年時点で 10 種あまりだったその数字は、2010 年で 300 種近くに増加。2015 年で約 1,000 種に、2020 年には 4,000 種近くになり、2025 年 5 月の時点では 7,695 種にのぼっているとのことです。この数字は今後も、気候変動の深刻化に伴い、さらに増えるものと考えられています。いま、多くの野生生物が、地球温暖化の深刻な影響を受けつつあります。多様な要因が関係する、地球温暖化が環境や植生に及ぼす影響を、科学で確実に証明するのは非常に困難です。しかし、地球上の各地でこうした問題が実際のものとなれば、その脅威は途方もなく大きなものとなります。

人類もまた、その影響から逃れることはできません。農業や漁業、林業などは、こうした影響を直接受けることになりますし、これらの原材料に頼ったさまざまな製品やサービスに携わる産業や経済も、間接的に打撃を受けます。深刻な危険性や可能性が考えられる以上、未来に向けて危機を回避するための、温暖化防止の取り組みは行なっていく必要があるのです。野生生物は、この地球という星の自然環境の確かな一部であり、同時にその現状を表すバロメーターでもあります。今、多くの野生生物が受けているさまざまな気候変動の影響は、そのまま人類を含めた地球環境が、温暖化によってどのような危機にさらされるのか、また今後、さらされようとしているのかを示す警告に他なりません。さまざまな野生生物の生きる地球環境を保全するために、そして人類が自然と調和して生きていくことのできる「持続可能な未来」を目指す活動の一つとして、地球温暖化をくい止める取り組みを行なっていかなければならないのです。

🌱 個人でできる地球温暖化対策の例

1. **エネルギーの使い方を工夫する**・不要な照明や電化製品をこまめに消す・エアコンの温度設定を見直す(夏は冷やしすぎない・冬は暖めすぎない)・断熱カーテンや窓の工夫で冷暖房効率を上げる・LED 照明への切替え
2. **移動の工夫**・徒歩・自転車・公共交通を積極的に利用・自家用車はエコドライブを心がける・車を買替える際はハイブリッドや EV も検討・車はまとめて用事を済ませる(燃料と時間の節約)
3. **食生活からできること**・食品ロスを減らす(買いすぎ・作りすぎに注意)・地産地消を意識して輸送エネルギーを減らす・肉類を少し減らし、野菜中心の食事を増やす(畜産は温室効果ガス排出が大きい)
4. **モノの使い方・選び方**・使い捨てを減らし、リユース・リサイクルを意識・長く使えるもの・修理可能なものを選ぶ・マイバッグ・マイボトルを利用・環境配慮のある商品(エコマークなど)を選ぶ
5. **社会への働きかけ**・省エネ家電や住宅の導入で、投資を通じて環境に貢献・環境に配慮した企業やサービスを応援する・家族や友人と「できること」を共有して広げていく

ポイントは「無理なく、生活に取り入れられることから始める」ことです。例えば「週に 1 日は車を使わない日をつくる」とか「冷房は 28 度で扇風機を併用する」といった小さな工夫でも、積み重なれば大きな効果があります。

家族・地域でできる工夫を共有(「うちではこんな節電してるよ」など話題にするだけでも広がります) 田舎で車はどうしても必要な場合は「車に乗らない」をそのまま真似するのではなく、地域を生かした工夫に置き換えることです。

マルジン 10 月のカレンダー							<申し訳ございません、立て込んでおります>	
日	月	火	水	木	金	土	マルジンは 只今、大変混みあっております。 ご依頼を頂戴しても「すぐに」というお話はお断りする場合も・・・! 申し訳ございませんが 余裕を持ったの早目のご依頼を 今一度お願い申し上げます。	
			1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

2025 年 10 月第 335 回は～マルジンレンタル機種「新メンバー」～について

新しく 仲間に加わりつつあります乗用台車です。接続の牽引車や 価格等 現状製品制約はございます「これはいいぞ!」とマッチしそうな現場がございましたら どうぞお問い合わせください。

OP-1-50MA 1人乗り
乗用台車

乗車台車諸元

機体型式		OP-1-50MA
寸法・質量	全長(mm)	885
	全幅(mm)	610
	全高(mm)	965
	機体重量(kg)	75 (連結器含む)
乗車定員		1名(運転者)
制御方式	降坂時	遠心式ブレーキ
	駐停車時	内部拡張式ブレーキ (非常用駐停車レバーにより作動)
座 席		吊り下げ式

非常停止ブレーキ



牽引車側の全てのブレーキに異常があった場合、使用します。レバーを「停止」位置にすると非常停止します。

非常停止ブレーキを搭載することで乗用可能となります。安全にモノラックをご利用いただくため、土木・電力・鉄塔工事・地質調査での常備化が進んでおります。

2人乗り乗用台車

OPB-2-50



乗用台車諸元

機体型式		OPB-2-50
寸法・質量	全長(mm)	1556(ワイヤ含む1710)
	全幅(mm)	560
	全高(mm)	1000
	機体重量(kg)	116(連結器を含まず)
乗車定員(名)		2(座席着脱式)
積載重量(kg)		200(座席取り外し時)
制御方式	降坂時	遠心式ブレーキ
	駐停車時	内部拡張式ブレーキ(非常用駐停車レバーにより作動)
安全装置		パンパースイッチ(衝突時エンジン停止)

※回転ジョイントS (オプション品)



非常停止ブレーキ



補助停止バンパー

OP-4-50 4人乗り乗用台車



非常停止ブレーキ



補助停止バンパー

乗車台車諸元

型 式		OP-4-50
大 小 寸 法	全長 (mm)	2580
	全幅 (mm)	655
	全高 (mm)	1025
	重量 (kg)	167 (連結器含む)
最大傾斜度 (°)		45°
乗車定員		4名
制御装置		遠心ブレーキ (降坂)、内部拡張式ブレーキ (ブレーキレバーおよびバンパーにより動作)
使用レール		NKAレール (50×50×2.3t) NKMレール (50×50×3.2t)

使用条件

連結台数	定員	牽引車
1連結	3人まで	300kg牽引タイプ以上
	4人まで	500kg牽引タイプ以上
2連結	8人まで	700kg牽引タイプ (登坂時、低速での使用に限る)